

# Daily Report (= 44)

# ~10月の米雇用統計について~

# 結果概要

米国労働省が11月5日に発表した10月の雇用統計は、市場予想を上回る結果となりました。

新型コロナウイルスの感染拡大がピークアウトしたことなどを背景に、経済活動が勢いを取り戻していることをより鮮明にする内容となりました。

非農業部門雇用者数は、前月比+53.1万人と市場予想(同+45.0万人)を上回りました。前月分は +31.2万人(速報値+19.4万人)に上方修正されました。

業種別では、外食、宿泊、サービス業で幅広く雇用回復が見られ、娯楽・接客業は前月比+16.4万人(前月+8.8万人)、教育・ヘルスケア業は同+6.4万人(同+1.3万人)、専門・ビジネスサービス業は同+10.0万人(同+7.6万人)と増加しました。

一方、前月に続き教職員の雇用が減少したことから政府部門が同▲7.3万人(同▲5.3万人)と減少しました。

失業率は4.6%と市場予想(4.7%)を下回り、前月(4.8%)から改善しました。

(出所)Bloomberg

## 市場反応

5日の米国株式市場は上昇しました。

米国株式市場は、10月の米雇用統計で雇用者数が市場予想を上回り、景気回復期待が高まったことなどから、NYダウは前日比+0.56%、S&P500指数は同+0.37%、ナスダック総合指数は同+0.20%となり、主要3指数とも揃って最高値を更新しました。

米国債券市場は、主要中銀がハト派姿勢を示したことを背景に債券の売り持ち高を解消する動きから買われ、10年国債利回りは前日比▲0.07%の1.45%程度で引けました。

米ドル/円は、米長期金利の低下やFRBによる早期利上げ観測の後退などを背景に円買い・ドル売りが優勢となり、前日比円高ドル安の113.46円/ドルで取引を終えました。

原油先物市場は、経済活動の正常化によりエネルギー需要の増加が進む一方、産油国での大規模な増産は見送られるとの観測から、WTI先物12月限は前日比+3.12%の1バレル=81.27ドルとなりました。



### 評価・今後の見通し

10月の米雇用統計は市場予想を上回り、新型コロナウイルス感染拡大の収束を背景に労働市場が回復していることを示す内容となりました。

FRB(米連邦準備理事会)は11月のFOMC(米連邦公開市場委員会)でテーパリング開始を決定しましたが、続く利上げには慎重な見方を示したことで、債券市場での過度な金利上昇は想定しづらいほか、株式市場では米製薬大手企業による新型コロナウイルス治療薬の開発進展に伴い経済の正常化が進むとの見方から投資家のリスク選好姿勢が強まるものと考えます。

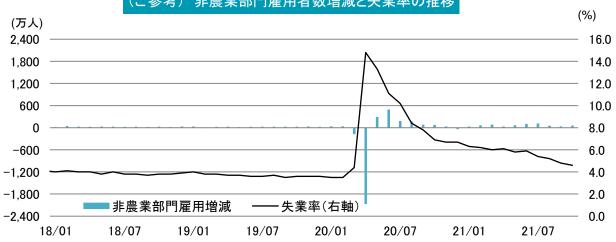
今後は発表される経済指標とFRBによる利上げ開始時期に焦点が当たるものと考えますが、市場は来年末頃の利上げ開始を織り込みつつあり、過度な調整局面は訪れにくいと予想します。

### (ご参考) 主要業種別雇用者数増減(前月比・万人)

出所:米国労働省

		21/5	21/6	21/7	21/8	21/9	21/10
非農業部門		61.4	96.2	109.1	48.3	31.2	53.1
3	鉱工業部門	1.6	4.2	7.4	5.4	6.5	10.8
	建設業	-2.4	-0.2	1.2	-0.1	3.0	4.4
	製造業	3.6	3.2	5.7	4.9	3.1	6.0
	資源•鉱業	0.4	1.2	0.5	0.6	0.4	0.4
	サービス部門	53.9	76.6	74.2	45.0	30.0	49.6
	卸売業	1.5	2.7	1.5	-0.5	0.7	1.4
	小売業	6.0	8.9	-0.6	2.2	5.7	3.5
	輸送•倉庫業	1.5	2.4	5.6	6.7	5.7	5.4
	情報	2.0	1.2	1.9	3.3	0.4	1.0
	金融	0.2	0.0	3.1	1.7	0.7	2.1
	専門・ビジネスサービス業	5.0	7.0	9.1	13.9	7.6	10.0
	人材派遣業	0.8	3.1	1.9	2.7	0.6	4.1
	教育・ヘルスケア業	4.6	7.2	8.4	7.2	1.3	6.4
	娯楽•接客業	31.9	39.7	40.8	7.1	8.8	16.4
	その他	0.5	4.4	2.5	0.6	-1.6	-0.7
ī	政府部門	5.9	15.4	27.5	-2.1	-5.3	-7.3
失業率(%)		5.8	5.9	5.4	5.2	4.8	4.6
平均時給(前年比、%)		1.9	3.7	4.0	4.1	4.6	4.9

#### (ご参考) 非農業部門雇用者数増減と失業率の推移



(期間)2018年1月~2021年10月 (出所)Bloomberg